動脈硬化測定も可能な
新型の血圧脈波検査装置を導入しました

ウィメンズクリニック布谷

ご自身の血管年齢を調べることができます

●血圧脈波検査とは？

・日本の３大死因は、がん、脳血管疾患、心疾患です。なかでも脳血管疾患は、 いずれも血管の壁が厚くなって弾力性が失われ、血管が狭くなってしまう 動脈硬化が原因なのです。

・動脈硬化とは動脈血管壁にコレステロール等の脂質が沈着し、血管の細胞が増殖 したりして、血管が弾力を失い、硬化するとともに、内壁が狭くなる（狭搾）状態です。

動脈硬化の危険因子には次のようなものがあります。

「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」「喫煙」「肥満」など

●どうやって測定するの？

・実際の測定にかかる時間は僅か５分程度です。

・検査は、両手、両足首４箇所の血圧を同時に測定するだけなので、 ほとんど痛みはありません。薄手の服ならそのままで測定できます。

●何で分かるの

・PWV (PulseWaveVelocity)　脈波伝播速度

心臓から押し出された血液により生じた拍動が、血管を通じて手や足に 届くまでの速度のことで、脈波伝播速度と呼ばれます。血管が堅いほど、 その速度は速くなります。

・ABI（Ankle-Brachial Index）上腕と足首の血圧比 足首と上腕の血圧の比を測定することで血管の狭窄の程度がわかります。

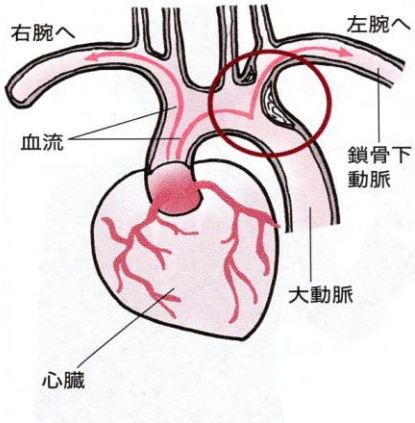
健常人の場合、足首血圧は上腕血圧より高いのが普通ですが、足の動脈が 脂質等で詰まったりすると、血流が悪くなり上腕の血圧より低くなり、ABI の値が低くなります。

※女性は心血管疾患の発生数は年齢とともに増加し、さらに閉経前よりも閉経後の方が多く認められます。エストロゲンの減少が冠動脈疾患などの発症と密接に関与すると考えられます。

※上腕血圧左右差も検査できます。

上腕収縮期血圧の左右差が 10mmHg 以上の症例では鎖骨下動脈の狭窄が多く認められ、15mmHg 以上では閉塞性動脈硬化症など抹消動脈疾患の合併のみならず、既存の脳血管疾患を合併の有無を考慮する必要があります。

血圧に左右差が出る原因



心臓から左腕につながる血管の途中には、血流が滞りやすく、動脈硬化が起こりやすい部分（◯の部分）がある。例えば、この部分が狭まり、血液の流れが悪くなると、左腕で測った血圧は、右腕で測った血圧より低くなる。